

3 不燃ごみの収集・分別の改善について①

対応状況	課題	改善策
火災発生から13日まで不燃ごみ、ビン、乾電池の収集を中止 収集対象地区の区長へ収集中止を電話連絡、プレスリリース 4月15日から収集を再開	市民に収集中止の周知が徹底できなかったため、集積所に出された不燃ごみが収集再開まで残ってしまった。	・防災行政無線、有線放送、巡回広報車を活用するとともに、住民自治協議会や区長会に電話連絡を行い、収集中止、再開等の周知を図る。

3 不燃ごみの収集・分別の改善について②

対応状況	課題	改善策
<p>ごみ収集カレンダー、「資源物とごみの出し方」(保存版)等を全戸配布するなど、ごみ出しのルールについては、恒常的に周知、啓発を図った。</p>	<p>火災の原因は特定できていないが、ピット内に、不燃ごみに分類されないスプレー缶、電池等があり、火災の原因となった可能性がある。 市民の分別の徹底がされていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報ながの(5月号、10月号(予定))、市政番組、市ホームページ等を活用し、適切なごみの出し方について周知・啓発を図る。 ・出前講座「ごみ・資源物の分別とリサイクルについて～8分別」の積極的な開催を、7月1日の支所長会議で依頼した。 ・ごみ集積所に掲示する「スプレー缶、カセットボンベの穴あけ、ライターのガス抜き及び電池の正しい排出方法についてのポスター」を作製中。 各支所、住民自治協議会に対して7月1日の支所長会議で集積所への掲示を依頼した。 (9月中に支所に配布する予定) また、10月に行われる分別強調月間で、不燃ごみ等の正しい搬出方法を掲載するポスターを重点地区の集積所への掲示を依頼する。 ・ごみの分別、収集日等がスマートフォンで見れるごみ分別アプリ「ごみ NAVI for 長野」の周知を図る。 ・スプレー缶・ライター等、発火の恐れがあるものについて、現在、収集方法等、検討中。
<p>民間処理事業者と協議し、一時的な不燃ごみ処理を委託した。</p>	<p>民間事業者との協議に時間を要した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他市町村や民間事業者と緊急時の不燃ごみの処理に係る協定について検討する。 他市町村の空き容量について調査を開始。